

協働本部の開催回数は、どの程度を見込んでいるのか問う。

答 この度の補正予算案では、導入に必要な準備として、2回の学校運営協議会を想定しているが、令和6年度には年4回の開催を計画している。

年度当初に運営方針の承認、7月頃に進捗状況の確認、10月頃に中間評価そして2月には成果と課題の検証を行うこととしており、PDCAサイクルを回しながら、進めていきたい。

議72 国民健康保険（事業勘定）特別会計補正予算（第1号）

【主な内容】

◎健康保険法等の改正に伴い、施行される産前産後期間の保険税免除制度に対応するため、シSTEM改修経費350万円を追加

議73 介護保険特別会計補正予算（第1号）

【主な内容】

◎介護保険給付費の確定により、国・県等への返還金が生じたため、2億7393万8千円を追加

【採決】

全議案とも全員一致で原案どおり可決した。

決算特別委員会

令和4年度三原市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について

【主な内容】

◎雨水事業として、浸水対策を中心に管渠整備、ポンプ場の整備及び改築・更新を実施した。

◎汚水事業として、汚水処理の未普及解消を中心に公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業、農業集落排水事業、漁業集落排水事業、市町設置型の小型浄化槽事業を実施した。

【主な質疑】

問 下水道施設の耐震化等を図る「防災」や、被害を想定して被害の最小化を図る「減災」を組み合わせた総合的な災害対策を推進する事業を実施したのか。

答 ポンプ場建設事業として、洪水や津波による浸水防除を図るため、耐水化事業の設計を実施しており、計画では令和7年度末までに9施設の事業を完了する予定である。

令和4年度三原市水道事業会計決算の認定について

【主な内容】

◎新型コロナウイルス感染症の流行の影響や給水人口の減少など

により、水道料金の算定基礎となる使用水量が減少し、給水収益は前年度を1.9%下回った。安定した給水を確保するため、水道管や施設の更新など、適切な維持管理に努めることで漏水による貴重な水資源の損失を防ぎ、また、道路陥没などの2次災害を防止する観点から計画的に漏水調査や管路診断を行い、修繕などに努めた。

【主な質疑】

問 配水量に対する有収率が8%であるが、100%までいかない理由は何か。

答 有収率が100%に満たないのは、水道管の末端にまで必要な塩素量を確保し水質を維持するために、ある程度の排水量を見込む必要があること、また、漏水によるものと考えるが、老朽管の更新工事を計画的に行うなど対策に努めている。



議員発議として国へ意見書を提出

■意見書の提出

- ・義務教育費国庫負担制度の堅持・義務教育諸学校30人学級の実現を求める意見書
- ・脱炭素と自然再興に貢献するサーキュラー・エコノミーの推進を求める意見書